

第3学年 国語科学習指導案

指導者 浪元 健司

場所 2階3年教室

1 単元名 せつめいのしかたを考えよう

教材名「すがたをかえる大豆」「食べ物のひみつを教えます」

5 本時の学習（第6時）

(1) ねらい 段落ごとに書かれている事柄を比べながら読み、筆者の分かりやすく説明するための工夫に気づくことができる。

(2) 評価規準 読 接続語や文章の内容から段落のつながりについて、説明の仕方に気づいて

(3) 準備 挿絵

(4) 展開

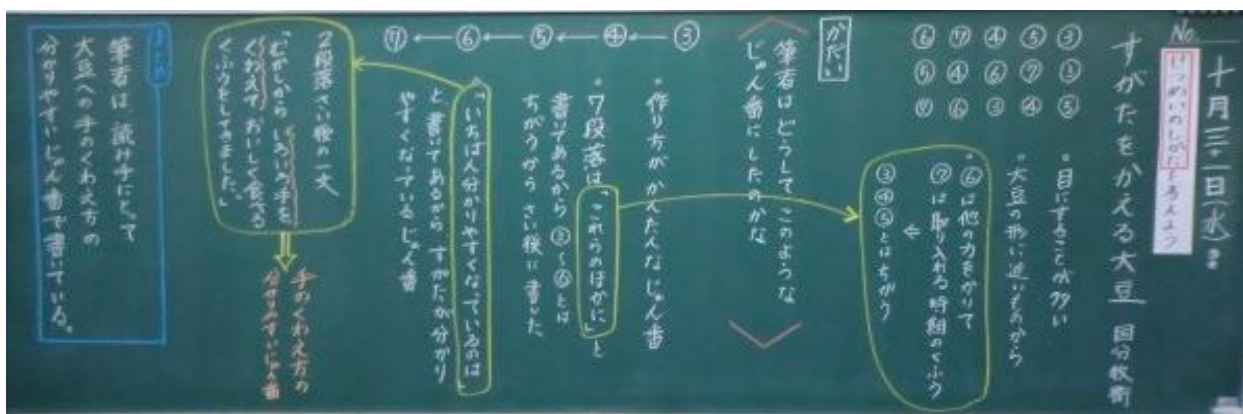
過程	学習課題と予想される児童の反応	指導上の留意点・ 評価◎ 支援○
つかむ	1 課題をつかむ ○どのように並び替えると、相手に分かりやすく説明することができるか発表しよう。（根拠・理由も話そう） ・普段からよく食べられているものから並べると分かりやすい。 ・作り方が簡単なものから並べると分かりやすい。	・中の文章の並び方を自分なりに考えてきたことを発表する。その際に、「分かりやすく」という点に着目して並び替えているかを確認する。
考える	課 筆者はどうして,このような順番にしたのだろうか 2 考えをもつ（個人で考える・ペアで考える） ○みんなはこんな考えでしたが、筆者は分かりやすく説明するために、どんな考え方をしたのかな。 ・「いちばん分かりやすいのは」と書いてあるから、何かの分かりやすい順番で書いているんじゃないかな。 ・だんだん作り方が難しくなっているんじゃないかな。 ・筆者は7段落は、大豆が変化したものではないから3～6段落を分けて考えたんじゃないかな。 ・「いちばん分かりやすいのは」と書いてあるから2段落とつながりがあるんじゃないかな。	・「いちばん分かりやすいのは」「次に」などはじめの言葉に着目させる。 ・「分かりやすい」とはどんなことなのかを考えさせる。 ・ペアで考えを交流し、自分の考えと比べさせながら、筆者の説明に対する自分の考えを明確にさせる。
学び合う	3 考えを発表しよう ・「いちばん分かりやすいのは」と書いてあるから、大豆のすがたが分かりやすい順番に並んでいると思う。 ・5段落までは、人間の手で作れるけど、⑥段落は、菌の力をかりないとできないから分けて考えている。 ・2段落の最後に書いてある、手の加え方でわかりやすい順番にならんでいると思う。 ・7段落は、大豆からできるのではなくて、違う植物になっているから、「そのほかにも」と書かれている。だから3～6段落の順番にははいらないと思う。	・段落の内容が、それぞれの読み手にとって分かりやすい順序で説明されていることをとらえさせる。また、その他の考えについても、その子なりの着眼点を認めるようにする。 ・三角ロジックで説明させる。 ◎接続語や文章の内容から段落のつながりについて、説明の仕方でも工夫していることを考えている。 (発言・ノート)

まとめる (5)	<p>4 まとめる</p> <p>まとめ</p> <p>筆者は、読み手にとって、大豆への手のくわえ方の分かりやすいじゅんばんで書いている。</p> <p>5 次の学習内容を確認する。</p>	<p>○考えを持ってない児童には、「一番分かりやすいのは」の意味を考えさせる。2段落とのつながりについて考えさせる。</p> <p>・自分たちが文章を書くときにも、使うことができるということに気づかせる。</p>
-------------	---	--

(5) 筋道を立てて説明するための本時の位置付け

付きたい力	教師が求める説明	支援
接続語や文章の内容から段落のつながりに着目して、説明の仕方工夫していることを読み取る力	つなぎ言葉である「いちばん分かりやすいのは」の部分に着目し、そこから理由や根拠をあげて説明する。	・段落相互の関係やつなぎ言葉に着目させる。

(6) 板書計画



液晶テレビの画面

国分さんはどうしてこの順番に？

7 とり入れる時期や育て方をくふう	6 目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう	5 大豆にふくまれる大切なえいようだけを取り出してちがう食品にするくふう	4 こなにひいて食べるくふう	3 大豆をその形のままだけに、たりして、やわらかく、おいしくするくふう